

## 特別企画：新潟県「くるみん」認定企業調査

## 「サービス業」が最多、全体の4割近くを占める

## ～ 2022年は過去最多の認定件数 ～

## はじめに

国内では急速な人口減少が顕在化。国や社会の存立に関わる問題として、少子化対策は最重要政策に位置づけられている。

企業活動においても「子育て支援」への取り組みは重要度を増しつつある。今回、仕事と子育ての両立をサポートする企業の認定制度「くるみん」（厚生労働省）について、認定企業（2007年～2022年）を調査した。調査対象は新潟県に本社を置く企業かつ各種属性が判明している63社。業種別、年商規模別、従業員数別、業歴別などで分析した。

※業種別など各種属性=2022年12月時点の企業データベース「COSMOS2」（全国約147万社）を利用して分析

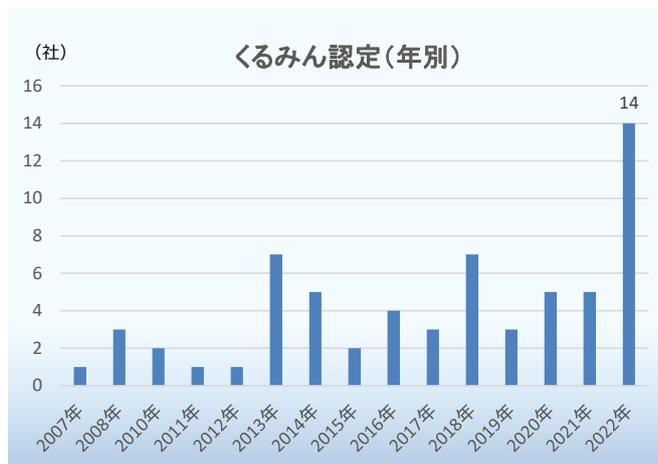
## 調査結果（要旨）

1. 認定年別： 2022年（14社）が最多
2. 業種別： サービス業（24社）が最多、建設業・小売業は低位にとどまる
3. 年商規模別： 10億円以上50億円未満が半数近くを占める
4. 従業員数別： 100人以上1000人未満が6割超
5. 業歴別： 50年以上100年未満が5割に迫る

## ■認定年別 ～2022年が過去最多～

新潟県内の「くるみん」認定企業 63 社について、認定年（複数回認定企業は初回）を調べたところ、2022 年が 14 社と前年（2021 年、5 社）の 3 倍近くを記録。2013 年と 2018 年（各 7 社）を大きく上回り過去最多となった。認定に向けた機運の高まりがうかがえる。

なお、63 社のうち、複数回認定企業は 15 社（2 回 9 社、3 回 6 社）だった。



## ■業種別 ～サービス業が最多、建設業・小売業などは低位にとどまる～

業種別にみると、医療福祉をはじめとするサービス業が 24 社（構成比 38.1%）と最も多く、全体の 4 割近くを占めた。次いで製造業が 17 社（同 27.0%）で続いた。他方、建設業・小売業について、県内の企業数でボリュームがあるものの、「くるみん」認定社数については低位にあり、それぞれ 1 割を下回った。

### 業種別

順位	業種	社数	構成比
1	サービス	24	38.1%
2	製造	17	27.0%
3	建設	6	9.5%
4	金融	5	7.9%
4	卸売	5	7.9%
6	小売	4	6.3%
7	運輸・通信	1	1.6%
7	不動産	1	1.6%

## ■年商規模別 ～10億円以上 50億円未満が半数近くを占める～

年商規模別にみると、「10 億-50 億円未満」が 31 社と最も多く、全体の半数近くを占めた。次いで「100 億-500 億円未満」（11 社）が続いた。

年商の中規模レンジ「10 億-50 億円未満」にボリュームゾーンが集中していることが特筆される。また、「1 億円未満」（1 社）においても、「くるみん」認定があり、規模が小さい企業のなかにも意欲的な事例が確認された。

### 年商規模別

年商規模	社数	構成比
1億円未満	1	1.6%
1億-10億円未満	9	14.3%
10億-50億円未満	31	49.2%
50億-100億円未満	4	6.3%
100億-500億円未満	11	17.5%
500億-1000億円未満	5	7.9%
1000億円以上	2	3.2%

## ■従業員数別 ～100人以上1000人未満が6割超～

従業員数別にみると、「100～1000人未満」が39社と最も多く、全体の6割超となった。また、「1000人以上」（8人）をあわせた「100人以上」は全体の4分の3を占めた。他方、「10人未満」はゼロだった。

### 従業員数別

従業員数	社数	構成比
10人未満	0	0.0%
10～100人未満	16	25.4%
100～1000人未満	39	61.9%
1000人以上	8	12.7%

## ■業歴別 ～50年以上100年未満が5割に迫る～

業歴別にみると「50～100年未満」が30社（構成比47.6%）と最も多く、「100年以上」（6社）とあわせた『50年以上』が36社と全体の6割近くを占めた。次いで「30～50年未満」（17社）が続いた。業歴10年未満はゼロだった。

なお、分析対象の63社のうち、業歴が最も長いのは「第四北越銀行（1873年創業）」で、「下村工業（1874年創業）」が続いた。

### 業歴別

業歴	社数	構成比
10年未満	0	0.0%
10～30年未満	10	15.9%
30～50年未満	17	27.0%
50～100年未満	30	47.6%
100年以上	6	9.5%

## ■まとめ

仕事と子育ての両立をサポートする新潟県内の「くるみん」認定企業は増加傾向にあり、2022年は過去最多を記録した。認定企業を業種別にみると、医療福祉や教育関連など女性活躍の場が多いサービス業が全体の4割近くを占め、次いで製造業が3割弱と続いた。他方、県内の企業数でボリュームがある建設業は1割弱にとどまり、業種別で取り組みの温度差がみられた。

国内の人口減少が続くなか、新潟県内では特に生産年齢人口の減少に歯止めがからず深刻化している。限られた「働き手」を活用し企業を永続させるためには、有能な人材確保と従業員の活力を引き上げる仕組みづくりが必要になる。特に女性活躍を充実させるためには、家庭と仕事の両立が重要なテーマとなる。この取り組みは個別企業の活力へ影響を与えるだけでなく、地域経済を活性化させるカギを握っているとみえよう。企業の社会的責任が注目されるなか、「くるみん」認定は重要な指標の一つになりつつある。

## 主な「くるみん」認定企業

TDB企業コード	商号	所在地	業種
340042111	株式会社第四北越銀行	新潟市	金融
350014316	株式会社大光銀行	長岡市	金融
340039840	新潟県信用農業協同組合連合会	新潟市	金融
350167861	株式会社原信	長岡市	小売
360005268	株式会社ナルス	上越市	小売
360003441	株式会社ブルボン	柏崎市	製造
340050506	株式会社コロナ	三条市	製造
340100241	亀田製菓株式会社	新潟市	製造
340017181	ナミックス株式会社	新潟市	製造
350170974	新潟太陽誘電株式会社	上越市	製造
340022771	一正蒲鉾株式会社	新潟市	製造
340016264	藤田金属株式会社	新潟市	卸売
340029781	医療法人愛広会	新潟市	サービス
340079630	株式会社キタック	新潟市	サービス

## 【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 新潟支店 担当：横井

TEL 025-245-5606 FAX 025-241-9019

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。